

高齢社会と未来の交通

公共交通は自動車の普及が始まってから大都市を除くと鉄道・バス等は撤退・縮小を余儀なくされ、地域住民のモビリティの確保が難しくなっている。こうした状況の一方で、移动通信システムはわずか40年で超高速、大容量、多数同時接続が可能な5G(通信規格の5世代目:5th Generation)にたどり着いている。これがスマートシティ、MaaS(Mobility as a Service)や次世代モビリティを支えるのはCASE等の4つの技術の進化である。都市と地方のモビリティと交通をどのように考えたらよいか、その方向を探るべくセミナーを開催する。今回は第一線で交通問題に取り組む研究者をお呼びし、行政の交通担当者、コンサルタントの実務者などと将来をともに議論し方向をみいだすことを目的として企画しました。詳細は下記のとおりです。

記

1. 日時: 2022年**9月7日(水)** 13:00~17:00

2. 場所: 北星学園大学 C館5階500教室

(札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1)地図参照

アクセス: 札幌市営地下鉄 東西線 大谷地駅 徒歩5分

大谷地ターミナル徒歩5分(空港バス/地下鉄大谷地駅)

3. 定員: 会場のみ100名

4. 参加費: 無料(配布資料ご希望の方は当日1,000円

で購入をお願いします。

5. 申し込み: 8月31日(水)までE-mailで下記へ

●氏名・所属・E-mailアドレス・電話等を記入しE-mail :aki@k08.itscom.net、に申込み下さい。

(秋山哲男・中央大学研究開発機構)

6. 主催者: 日本福祉のまちづくり学会北海道支部/日本福祉のまちづくり学会事業委員会、日本福祉のまちづくり学会地域福祉のモビリティデザイン特別研究委員会、土木計画学研究委員会研究小委員会「新しいモビリティサービスやモビリティツールの展開を前提とした交通計画論の包括的研究小委員会」、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団/北星学園大学/中央大学研究開発機構、(一社)北海道開発技術センター

7. 講演者の内容(1~6)

第一部【高齢者社会の交通とバス・タクシーの行方】

1. 高齢社会と交通:鎌田 実 自動車研究所代表理事・研究所長

高齢者が3割を超える社会において、地域公共交通の方向性や将来あるべき姿を示すこと。また、自動車の運転を止められない高齢ドライバーの安全対策、安全教育や運転断念とモビリティ問題について論ずる。

2. 地方公共交通(バス・タクシー)が生き残るために何をすべきか?:吉田 樹(福島大学)

バス・タクシーが生き残るためには、法制度や公共交通の財源を抜本的に改善する方法があるが、事例を通して今のバス・タクシーの工夫を紹介する。①地方都市における乗合バスの運賃体系構築を変えることによる工夫、②地方小都市における乗用タクシーの定額制サービス導入による工夫、など。

3. 北海道の地域交通の現状と課題 有村 幹治 室蘭工業大学大学院 教授

北海道の地域の地方自治体の高齢者を含む移動制約者のモビリティ確保の現状から、北海道の様々な地域で現在の公共交通、今後の交通はどのようになるのか?等について現状と課題を語っていただく。



第二部 【未来の交通と福祉交通を探る】

4. 未来の都市交通の論点 中村文彦 東京大学, 大学院新領域創成科学研究科, 特任教授

自動車依存度が大きい地域交通は、今後どのように変わりうるのか？以上を前提に以下の3点について論ずる。①自動車からの過度な依存を改める方法、②ライドシェア、自動運転、MaaSなど新しい動きをどのように受け止めるべきか？③地域モビリティを守るために行政や住民は何をすべきか？

5. 福祉交通と一般交通の役割分担 秋山哲男 中央大学 研究開発機構教授

我が国の一般交通と福祉交通の成り立ちを歴史的に整理する。次に福祉交通と一般交通の接点を重点において対策を行ってきたスウェーデンの事例について整理する。また一般交通はSUMPと比較し欧州は人に焦点を当てた計画であり、我が国は交通に焦点を当てている。こうした違いを今後どのように解釈するか？

6. 札幌市バリアフリー基本構想2022から読み解く現状と課題 石田真二 北海道科学大学副学長

3度目の改定となった札幌市バリアフリー基本構想2022における最新の内容を紹介し、パブリックコメントから読み解く市民の意識についても解説し、今後のSDGs、冬季オリパラ、積雪寒冷地等である視点から移動制約者に対するモビリティの確保について考えるべき視点を明らかにする。

8. プログラム :13:00~17:00

挨拶:鈴木克典 北星学園大学教授

第一部 【高齢者社会の交通とバス・タクシーの行方】 13:05~14:55

コーディネーター:秋山 哲男 中央大学研究開発機構教授 / 鈴木 克典 北星学園大学教授

13:05 高齢社会と交通 : 鎌田 実 :30分

一般財団法人日本自動車研究所 所長、東京大学名誉教授

13:35 地方のバス・タクシーが生き残るための工夫:

吉田 樹 福島大学 経済経営学類准教授

14:00 北海道の地域交通の現状と課題:

有村 幹治 室蘭工業大学大学院 教授:25分

14:25 質疑とディスカッション:30分

14:55 休憩 15分

第二部 【未来の交通と福祉交通を探る】 15:10~17:00

コーディネーター:鈴木克典 北星学園大学教授 / 原文宏 北海道開発技術センター 理事

15:10 未来の都市交通の論点 中村 文彦

東京大学, 大学院新領域創成科学研究科 特任教授:30分

15:40 福祉交通と一般交通の役割分担 秋山 哲男

中央大学 研究開発機構教授:25分

16:05 札幌市バリアフリー基本構想2022から読み解く現状と課題

石田 真二 北海道科学大学 副学長:25分

16:30 質疑とディスカッション:30分

閉会の挨拶: 原文宏 北海道開発技術センター 理事